

2016年1月8日
株式会社エイチアイ

UI Conductor の最新バージョン V1.6.0 をリリース —3D 機能が強化とマルチプレビュー対応により表現力がより豊かに—

株式会社エイチアイ(本社:東京都新宿区、代表取締役社長:青山智信、以下、エイチアイ)は、2013年より提供しております UI オーサリングツール、「exbeans® UI Conductor(エクスビーンズ UI コンダクター、以下 UI Conductor)」に、3D 機能の強化とマルチプレビューの対応などの新機能を盛り込んだ最新バージョン「UI Conductor v1.6.0」をリリース致します。

UI Conductor は、HMI(Human Machine Interface)を開発するためのオーサリングツールです。ツール上で動作確認しながら、開発が可能である上、ドラッグ&ドロップ操作で UI 作成ができます。また画面遷移エディタ、自動レイアウト機能などの豊富な機能により、高い生産性を可能にしています。オーサリングツールで作成したデータをそのままランタイム(ミドルウェア)上で動作できるため、デザイナーのイメージをそのまま実環境で再現することが可能です。

この度、これからの UI 開発に不可欠と思われる3D 機能を強化し、また新機能としてマルチプレビュー機能を追加、さらに従来機能についても強化・改良を行い、デザイナーの意図するリッチなグラフィックスを簡単に表現するとともに、UI/UX 開発の効率化に貢献するソフトウェアとしてバージョンアップ致しました。

エイチアイは、今後とも市場やお客様のニーズを常に取り入れ、よりデザイン性の高い UI を、より効率よく実現するためのツールをご提供していきます。

<主な追加・改善された機能>

■3D 機能の強化

1) 描画パフォーマンスの向上

3D ミドルウェアの最適化を行い、描画パフォーマンスを向上させました。

メモリ使用量は 12%~18%程度、CPU 使用率は 25%~60%程度、描画速度は 25%~75%程度改善されています。

2) Blinn シェーダーが出力可能に

3D オーサリングツールで作成した見た目のままのシェーダーを簡単に生成できるようになります。

これにより、クオリティの高い 3D データをこれまでよりも簡単に作成できるようになります。

3) アンチエイリアスが設定可能に

「レンダリング設定」で「OpenGL ES」を選択時に「アンチエイリアス」を設定できるようになります。

「アンチエイリアス」を ON にするとアンチエイリアシング(スムージング)がかかり、エッジから滑らかに描画されます。※アンチエイリアシングの性能はグラフィックチップと OpenGL ES に依存します。

●設定ウインドウ



●アンチエイリアシング【OFF】時



●アンチエイリアシング【ON】時



4) データ作成フロー

3ds Max から直接 UIC で利用できる形式に出力できるようになります。

3ds Max 上での見た目をほぼそのまま UI Conductor で利用できる形式に直接出力できるので開発効率の向上が見込まれます。また、微調整のしやすさから、クオリティ向上にも寄与します。

5) シーンウィンドウの追加

新たなビューとしてシーンウィンドウを追加します。

3D ビューは 3 面図のような形式になっており、3D オブジェクトを任意の場所に配置しやすくなります。またカメラやライトなどもわかりやすくシンボル表示を致します。



6) カメラ機能の強化

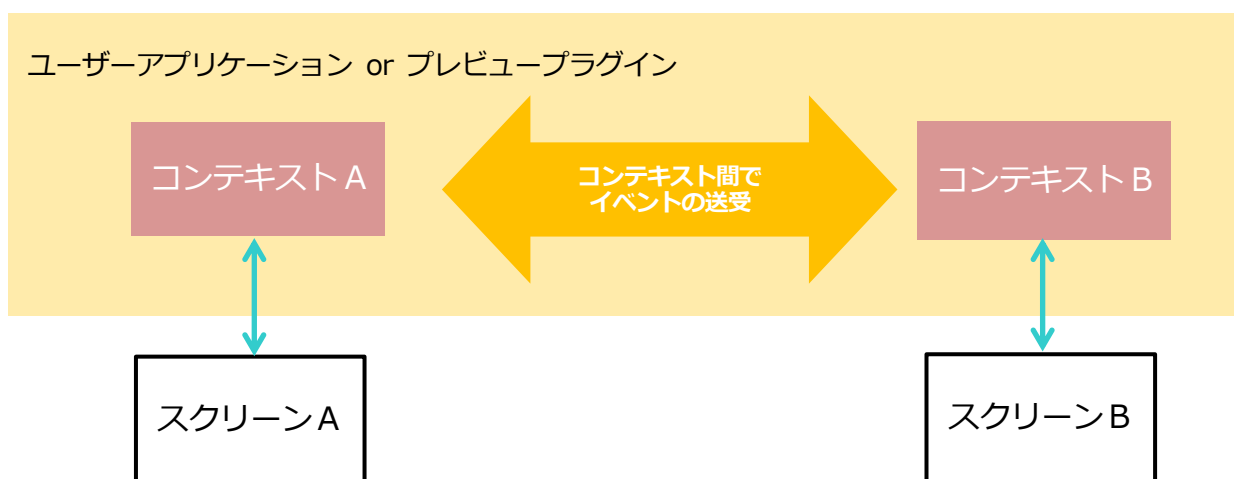
オブジェクトごとにカメラ、ビューポートが設定できるようになります。

これにより、各オブジェクトがビューポートを持つことで、2D 画面上の好きな位置に正面からとらえたレンダリング結果を配置できるようになります。

■プレビュー機能の強化

1) マルチディスプレイ

UI Conductor ではコンテキストに対するイベントの送受の仕組みを提供しており、具体的なディスプレイ間のやりとりの方法やプロトコルは、アプリケーション層で自由に規定できます。



複数のディスプレイ間で連動する UI を作成/プレビューできます。



- 2) フルスクリーンでのプレビュー機能
- 3) メモリ使用量のグラフ表示機能
- 4) プレビュー時の FPS 表示機能

その他、テキストの自動スクロールやデコレーションなど、20 項目以上の使いやすさを改善しております。

■エイチアイについて <http://www.hicorp.co.jp/>

エイチアイは、『デザイン & テクノロジー』をキーワードに、ソフトウェア開発だけでなく、UI/UX のデザイン・企画・コンサルティングをはじめ、HMI 開発環境の開発・ライセンス販売・サポートに重点を置き、より質の高いデザインの表現を可能にするための GUI 開発環境や様々な製品提供を行っています。意匠デザインや HMI アプリケーションの開発プロセス支援とソフトウェア品質向上支援により、他社との差別化を実現致します。エイチアイは、今後もさまざまなデジタル機器への技術提供を進めるとともに、人の生活を豊かにする製品の創造を目指し、研究開発を進めてまいります。

動作環境や製品構成など、製品に関する詳細は
エイチアイの Web サイト(http://www.hicorp.co.jp/ja/prux_uic.html)をご覧ください